

令和3年度使用中学校教科用図書

に関する調査報告書

教科名 音楽（一般）

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	音楽 (一般)
----	---------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
17 教出	音楽 701 音楽 801 音楽 802	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽科の目標達成にむすびつくように、学習のめあてが左ページの端に明示されている。 ・鑑賞曲が豊富であり、時代や音楽史区分がわかりやすい。鑑賞のポイントはやや不明瞭なところがあるが、ワークシートと関連させて展開することで、特徴などをとらえやすくするよう工夫している。 ・「くいしんぼうのラップ」等リズム学習を取り入れた教材があり、生徒が興味や関心を持って表現を楽しみ、工夫することができる。 ・歌唱曲・鑑賞曲、諸外国の様々な音楽・我が国の音楽など分野別のまとまりがやや明確でなく、発達段階に即して系統的に学ぶためには、教師の工夫が必要である。 ・入学してすぐの1年生の「アニーローリー」の歌詞は文語調であり、曲に親しみにくい。また、2・3年下の第1曲目「旅立ちの日に」は、やや難易度が高い。 ・「夏の思い出」(1年)、「浜辺の歌」(2年)、「花」(3年)などの共通教材は、曲想を想起しやすい写真を使って表紙裏等に配置されているが、楽譜掲載ページと離れている。また、共通教材の作詞者、作曲者も別のページにまとめて掲載されている。 ・曲想と写真やイラストの関連が生徒に伝わりにくいものがある。 ・「まなびリンク」というWebサイトへリンクできるQRコードがあり、別教材との比較や創作活動の参考としたり、主体的な学びのヒントとなったりする情報を得ることができる。 ・リンク先のデータ内容には、工夫の余地がある。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
27 教芸	音楽 702 音楽 803 音楽 804	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動の分野で使用するワークシートは、生徒が主体的に取り組みやすく、「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図れる内容となっている。 ・1年生では、「順次進行」「跳躍進行」等、難しい用語が使用されているが、全体を通して生徒の発達段階に即して系統的、発展的に取り組めるような工夫や配慮が見られる。 ・リズムゲームを取り入れ、生徒が興味・関心を持って取り組めるよう工夫されている。 ・創作活動に取り組むページでは、音符や休符の書き方もまとめて掲載されており、丁寧な指導が可能となっている。 ・「指揮をする」「プレゼンをする」など、新しい取り組みが導入され、生徒が音楽活動の楽しさを体験できよう配慮が見られる。 ・共通教材は【心の歌】というシリーズで全学年にわたり配置されており、伝統的な楽曲に親しんだり、その良さを味わうことで愛着を持ったりできる工夫がされている。 ・生徒にとって親しみやすい曲が教材に採用されており、音楽を愛好する心情や豊かな感性を育む工夫がされている。 ・我が国の伝統的な音楽を学習するページが増えている。特に「越天楽」は、雅楽の特徴が図説されており、写真も鮮明でわかりやすい。他の鑑賞曲についても、注目点などを明確に表記している。 ・ワークシートには、主体的な学びをサポートする説明や例示がありわかりやすい。 ・巻頭の目次やアイコンがシンプルで見やすい。 ・全体的に、使用されている写真データが美しく、歌詞と結びつく具体的な素材が用いられており、生徒が情景をイメージしやすい。 ・【心の歌】【歌い継ごう日本の歌】【心通う合唱】と系統立てて構成されており、ジャンルや時代を考慮したバランスのよい選曲がされており、生徒が主体的に取り組みやすい。

教科用図書調査に関する報告書

音楽 (一般)

観点別評価

「◎」優れている 「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の観点	観点別評価	観点別評価
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている音楽科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○
内容	1	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う工夫がなされているか。	○
	2	表現及び鑑賞の活動を通して、「共通事項」を身に付けることができるような配慮がなされているか。	○
	3	音楽に関する歴史や文化的意義、生活や社会において音や音楽が果たしている役割を、表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できるような内容となっているか。	◎
	4	音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞などに生かすことができるような工夫がなされているか。	○
	5	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるような内容となっているか。	○
	6	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図るなど、音楽科の特質に応じた言語活動が適切に位置付けられているか。	◎
	7	我が国や郷土の伝統的な音楽の学習を通して、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わい、愛着をもつことができるような工夫がなされているか。	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○